○本草圖譜卷之二ニ載セタル四種ノ羊齒ノ批評

牧野富太郎

灌園岩崎常正著『本草圖譜』卷之二ニ數種ノ羊齒(しだ)ガ出テ居ル此頃東京ノ本草圖譜刊行會デ出版ニナッタ同書卷末ニ附セル「名疏」ニハ此等羊齒ノ名實ヲ非常ニ誤ッテ居ルト思フカラ其考訂者ニハ御氣ノ毒デハアルガ斯學ノ爲メ茲ニ聊カ我ガ卑見ヲ述ベテ考訂ノ考訂ヲシテ見ヨウト思フ

先ヅ第一ニ『貫衆(くわんじゆう)　ちりめん貫衆江戸』トシテ圖シテアル羊齒ハ是レハ今日吾人ノ稱スルやまそてつ即チ Plagiogyria Matsumureana Makino. デアル之ヲちりめんくわんしゅうト呼ブ事ハ『本草通串證圖』ニモ出テ居ル是レハ此羊齒ヲ深山カラ出シテ東京ノ樣ナ都會デ培養スルト能ク其葉ノ羽片ガチヾレルカラ之ヲ其樣ナ名デ呼ンダモノデアル元來『本草圖譜』ノ羊齒ノ圖ハ頗ルマズイノデアルカラ此處ニ描ケル此ちりめん貫衆モ餘程目ヲ利(キカ)サナイト其眞諦ヲ捉ヘ得ルコトガムツカシイ、卷末ノ「名疏」ニ之ヲ『今名しゝがしら。(學名) Blechnum nipponicum (Kunze) Mak.』ト鑑定シテアルノハ誤リデアル

次ニ第二ニ『しゝがしら　處々深山に生ず』トシテアル羊齒ハ全ク原本通リデ宜シイ即チ此圖ノ者ハ今日モ言フ通リノしゝがしらデ學名ハ Blechnum nipponicum Makino. デアル然ルニ卷末ノ「名疏」ニハ之ヲ『今名をさしだ。一名むかでぐさ。一名やぶそてつ。一名をさば。一名いはしぼね。以上四名本草啓蒙(學名)Blechnum amabile Mak.』トシテアルノハ誤リデアル、をさしだハ此圖ノ樣ニ直立セル株カラ澤山ノ葉ガ出テ居ルモノデハナク根莖ハ横ニ這ヒ葉ハモット少ナク且ツ其葉柄ガ明カデアル

其次第三ニ『やまそてつ』トシテ圖シテアルモノハおしゃぐじでんだ即チ普通ニ呼ブおしゃごじでんだデアッテ學名ヲバ Polypodium Fauriei Christ.(＝P. japonicum Maxon.)ト稱スル然ルニ卷末ノ「名疏」ニハ之ヲ『やまそ

てつ。(學名) Plagiogyria Matsumureana Mak.』ト鑑定シテアルガ是レモ大ナル誤リデアル先ヅ第一ニ其圖ノ羊齒ガ小型デアルノデ直グニ其レガ今日吾人ノ云フ所ノやまそてつデナイコトガ判カルノミナラズやまそてつノ根莖ハ此圖ノ樣ニ横走スルモノデナイカラ此レガ其レデナイコトハ直チニ首肯セラル丶、

又其次第四ニ『つる貫衆(くわんじゆう)江戸』トシテ圖シテアルモノハ今日吾人ノ稱スルつるでんだ。即チ Polystichum craspedosorum DIELS. デアル然ルニ同ジ卷末ノ「名疏」ニハ之ヲ『一名をりづるしだ。名鑑 一名いかりしだ。草木名寄 一名つるしだ。一名つるきじのを。以上二名草木性譜 (學名) Polystichum lepidocaulon (HK.) J. SM.』ト記シテアルガ是レモ亦非常ナル鑑定違ヒデアル今此圖譜ノ圖デ一見スレバ其レガ直チニをりづるしだデナイコトガ分ル、タヾ其葉末カラ苗ガ出テ居ルヲ見乃チ速了シテ之ヲをりづるしだトシタトスレバ其レハ隨分踈漏ナ見立ダト謂ハネバナラヌをりづるしだハモット大形ノ羊齒デ其羽片モ先キガ尖ッテ居ル又其羽片裏面ノ嚢堆モ此圖ノ樣ニ一列ニナッタ大形ノモノデハナイ又葉柄ノ鱗片モ此圖ノ樣ニ尖リ出テハ居ナイ又葉縁ニ圖ノ樣ナ毛ハナイ其レ故此圖ニ對シテ今少シク精密ニ考ヘタナラバ此レガつるでんだデナケレバナラヌコトガ容易ニ看取セラル丶ノデアル

○本草圖譜ニ「列當一種」ト記セル淡黄花ノ植物ハ何乎

牧野富太郎

前記岩崎灌園ノ『本草圖譜』卷之一山草部ニ「列當一種」トシテ掲ゲテアル一種ノ植物ガアル列當即チはまうつぼノ次ニ其圖ガアッテ圖傍ニ「一種　武州御嶽山中に生ずるもの花淡黄色なり」ト記シテアルガ抑モ此レハ如何ナル植物デアラウ乎

著者岩崎灌園ハ此植物ヲ列當(はまうつぼ)ノ一種ト記セドモ是レハ決シテ列當科ノ者デナク正シクいちやくさう科ノしやくぢやうさう即チ Monotropa Hypopithys L. var. japonica FRANCH. ET SAV. デアル今岩崎灌園ガ自